

皆の協力で成功させよう
2000年 九州・沖縄サミット



◆年頭のあいさつ (恩納村長・恩納村議会議長)

◆心うきうき村産品 第2回産業まつり

◆御万人揃てい 健康さびら

第13回村福祉・健康まつり



村のひと(11月末日)

男	4,895人 (-6)
女	4,712人 (+5)
計	9,607人 (-1)
世帯数	3,286世帯 (+7)

青と緑の豊かな活力ある村

第8回恩納村文化展が開催されます。

絵画/彫刻/陶芸/書道
写真/盆栽/華道/手工芸
【民芸品・ガラス・染色・手工芸】

オープニングセレモニー ……………
■平成12年1月28日(金) 午前10時
■村コミュニティセンター (大ホール)

村民の皆様のご来場を
お待ちしております。



第7回恩納村文化展出品作品から

展示期間/平成12年1月28日(金)~1月30日(日)
午前10:00~午後6:00【入場無料】
展示会場/恩納村コミュニティセンター (大ホール)

主催/恩納村文化協会・恩納村教育委員会 お問い合わせ先: 村教育委員会社会教育課 ☎966-8506

新庁舎での業務開始は4月3日(月)から!!



村民の皆様へお知らせです。

サミット関連で村コミュニティ広場(漁民広場)が芝生張り替えと養成のため、1月17日から5月末まで使用できなくなりますのでお知らせ致します。

※外周を使用しているウォーキングでの使用は可能です。

第13回恩納村福祉・健康まつり

うまんちゅ する がんじゅうさび
“御万人揃てい 健康守ら”



▲健康を皆で守ろう、まつりテープカット

自らの健康は自ら守り、健康で心豊かな村づくり形成していくことを目的に、十二月二十五日から二十六日にかけて第十三回恩納村福祉・健康まつりが村コミュニティセンターで開催されました。

村福祉・健康まつりのオープニングで大城村長は、「この機会に村民が福祉と健康に対する認識を深め、健康づくりにますます精進されることを祈念します。」とあいさつし、関係者によるテープカットで二日間のまつりがはじまりました。

まつりでは、福祉や健康についての認識を高めてもらおうと、福祉、保健、衛生等の各事業のサービズ紹介や健康づくり講演会、健康ウォーキングやサイクルパザール、骨密度の測定等が行われ、自分自身の健康づくりについて新たにむかひ合いました。

また、まつりではこれからますますけんこうでガンバッテ下さいと、百歳以上の高齢者を讃える「ガンジューデーびる賞（二名）」や八十歳で二十本以上の自分の歯を持つ方を讃える「八〇二〇歯の健康賞（一名）」、三歳児検診で虫歯のなかった子を表彰する「虫歯ないで賞（三十五名）」の三部門の表彰を行いました。

まつり二日目には、今回から保育園児の舞台発表も行われ会場には家族や親戚等が多く集まり、園児も元気いっぱい、笑顔いっぱいに発表してくれました。



▲健康チェックのコーナーも設けられました

▲8020歯の健康賞受賞の久場厚徳氏（山田）



▲保育所の園児も舞台上で発表



▲津金昌一先生による健康づくり講演会

新年あけましておめでとうございます。



2000年 今年辰年です。

辰年にあやかっ、今年辰年を突破し飛躍の年にしていましよう



年頭のあいさつ

恩納村長 大城 英喜

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

私は、昨年一月二十四日に村長に就任し、やがて一年が過ぎようとしておりますが、この間、村民の皆様との期待と信頼にこたえ、日夜を問わず全力で村政発展に取り組んでまいりました。村民の皆様への村政に対するご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は、第一回及び第二回の産業まつりの成功、子ども達のスポーツ面での県内外での活躍に感動を覚え、そして村民期待の博物館建設に着手する事ができ、その完成を村民と共に心待ちしております。

さて、西暦二〇〇〇年の節目の年を迎える今年、二月末には新庁舎も完成し、四月から村民の皆様によりきめ細かな行政サービスが提供できるよう職員一丸となつて準備をすすめております。また、同じく四月から社会全体で介護を必要とする方々を支える介護保険制度もはじまります。七月には、初の地方開催となるサミットが本県で開催され、本村ではサミット期間中各国首脳が宿泊先としては勿論のこと、その他報道関係者等多くの皆様も国内、海外から訪れることになっております。

村では世界へ、「青と緑の活力ある村」恩納村を発信する絶好の機会と受けとめ、サミット成功に向け、地域内の環境美化や安全について村民の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

最後に、西暦二〇〇〇年の辰年が村民の皆様にとりまして、また村にとりましても素晴らしい飛躍の年でありますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。



新年のご挨拶

恩納村 志喜屋 文康
議会議長

村民のみなさま、明けましておめでとうございます。

平成十二年の輝かしい新春を迎えるにあたり、村議会を代表して村民の皆様へ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、旧年中は私たち議会一同一致協力し、議会の円滑な運営と村民皆様の声が村政に反映されるような状況づくりのために、ひいては村政の伸展のため微力ながら誠心誠意懸命の努力を傾注して参りました。

お陰をもちまして、大過なく越年することができました。

これも偏に村民皆様方の日頃の御支援と御協力の賜物と心から感謝申し上げる次第であります。

二〇〇〇年は、主要国首脳会議（サミット）沖縄開催を目前に控え、沖縄の経済情勢も回復するものと期待する反面、多くの弊害も懸念されます。

地方分権に伴い、地方税財源の確保はもとより、我々自らも行政改革を断行し、分権社会の担いに相応しい地方行政体制を、整備・確立することが、強く求められております。

そのような中で本村においては、新庁舎も三月には完成し、職員一同心新たに克服すべき多くの課題を乗り越え、更に行政需要は益々増大多様化するなど極めて厳しいものがありますが、私ども議決機関と致しましても、未曾有の財政危機を乗り越え、明るく住みよいより豊かなむらづくりのため、今後さらに創意工夫を重ね、村民皆様方の期待にこたえるべく最大の努力をいたす所存でございます。

どうぞ、本年も村民皆様の温かいご指導とご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご多幸をお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

心うきうき村産品



▲氷の彫刻の実演は子ども達にも大人気

ステージでは、村内の観光関連施設の提供によるタレントショーや民謡ショー等で会場内を盛り上げていました。ステージ横では二日間、リゾートホテル提供の氷の彫刻の実演も披露され、一日目はトナカイとサンタクロース、二日目は、千支の竜を二時間程度で仕上げ会場を楽しませていました。



▲ハラハラドキドキ 体験乗馬



▲新鮮な野菜類も即売されました



▲まつり初日にはラジオの公開放送でPR



▲地場産品を使用して飾り付け

ご協力いただきました関係団体の皆さま
ありがとうございました。

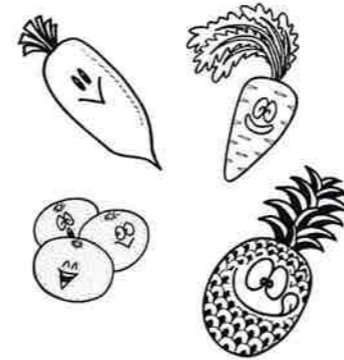
恩納村産業まつり実行委員会委員長

大城英喜(恩納村長)

第2回恩納村産業まつり



▲役員によるテープカット



▲大城村長開会のあいさつ

地場産品の活性化を図ることを目的に「心うきうき村産品」をテーマに第二回恩納村産業まつりが十二月二十五日と二十六日の両日、村コミユニティ広場で開催され、天気にも恵まれ多くの村民や観光客からも訪れ村産品を一堂した第二回村産品まつりを楽しんでいました。

二十五日に行われたオープニングセレモニーでは、同まつり実行委員会の大城英喜村長から、「恩納村は、豊かな資源を有しており、大きな可能性を秘めている。この産業まつり



▲オープニングアトラクションではかりゆし太鼓



を通して産業振興のため、さらに邁進する所存です。」と開会のあいさつの後、役員によるテープカットで産業まつりは開会しました。

まつり期間中、それぞれ農作物等を使用して地場産品をPRしようという趣向をこらした展示物や各関係団体のテナントでは、それぞれの取り扱う産品を広く紹介しながら販売していました。また、七月のサミットを来場者にPRするテントも準備され開催の協力を呼び掛けました。

JAやんばる恩納支所・恩納村商工会・恩納村漁業協同組合・恩納村議会・恩納村区長会・村内観光関連事業所・恩納村老人会・恩納村婦人会・恩納村青年団協議会・恩納村建設業者会・恩納村農山漁村生活研究会・恩納村

石川署管内の高齢者の 交通事故防止を願って

参加者同志の親睦を深めながら高齢者の交通事故防止を図ろうと12月8日、県民の森で石川署管内の恩納村、宜野座村、金武町、石川市の四市町村の高齢者約150名が参加してグラウンドゴルフ大会が開催されました。

大会では、はじめに交通安全指導員から4月1日から着用が義務付けられるチャイルドシートの必要性和装着の仕方等が説明され、その後グラウンドゴルフを楽しみながら交流を深めていました。



信号機点灯式で 恩納保育園児が渡りはじめ

恩納区と南恩納区の境界近くにある農協出荷場入口近くの国道58号線に12月24日から、新しく信号機が点灯を開始しました。

点灯式には、大城村長をはじめ石川警察署の当真署長、石川地区安全協会の山田会長や村職員等が参加。渡りはじめは恩納保育園の年長組の元気な園児が行い、村交通安全推進協議会から園児に交通安全ガンバッテ下さいとクリスマスプレゼントも園児に配布されました。



こんにちは、保健婦・士です 【かぜやインフルエンザの流行する季節の到来】

空気が乾燥するこれからは、かぜのインフルエンザが流行する季節です。

インフルエンザウイルスは、A・B・Cの3型に分けられ、このうち流行するのはA型とB型になります。

現在、人間のかかるインフルエンザウイルスは、Aソ連型、A香港型、B型ウイルスです。

昨年は、全国的にみるとA香港型が流行し、乳幼児から高齢者にいたるまで多くの方がインフルエンザウイルスに感染しました。

インフルエンザの症状は、普通のかぜとは異なり高熱、頭痛、筋肉や関節の痛み、全身のだるさなど激しい症状が特徴です。

インフルエンザの場合には気管支炎、肺炎などの合併症を引き起こすこともあります。

予防策としては、外出後のうがいや手洗い、十分な睡眠、バランスのとれた食事、流行中は人混みを避けることが必要です。



かかってしまっまら...

早めに安静にして休養をとりましょう。睡眠を十分にとり、特に熱が出ている場合はお茶やジュース、スープ、スポーツドリンクなど飲みやすいもので水分を十分に補給することが大切です。

部屋の中が乾燥しないように、適度な湿度を保てるよう、時々窓をあけて換気したり、まくら元にぬらしタオルをかける等工夫しましょう。

また早めに病院で受診しましょう。

どっちがうの？ かぜ（一般的な感冒）VSインフルエンザ

ライノウイルス、コロナウイルス、アデノウイルス、コクサッキーウイルスなど、	原因となるウイルス	インフルエンザウイルス
<p>鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せきやくしゃみなどの呼吸器系の症状のほか、発熱、軽い頭痛、筋肉痛などの症状が見られます。全体的に見て、全身症状が軽のが特徴で、約1週間くらいでよくなります。</p> <p>鼻かぜの場合は発熱は37.5℃程度です。のどの痛むかぜ（咽頭炎）の場合には、のどが痛み、赤く腫れます。熱は37~38.5℃とわりと高めになります。</p>	<p>主な症状</p>	<p>突然の発熱で、39℃以上と高熱がでるのが特徴です。このほかに頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状と鼻水、鼻づまり、せき、くしゃみ、のどの痛みなどが見られます。普通のかぜとは違い、乳幼児などは重症化すると命に危険が及ぶこともあります。</p>



子ども達が活動の成果を発表

恩納村子どもフェスティバル



▲浜千鳥（谷茶子ども会）



▲マミドーマー（前兼久子ども会）

日頃の子ども会活動で得た体験や活動を発表しようと、村子ども会育成連絡協議会が主催する村子どもフェスティバルが十二月十九日盛大に開催されました。

フェスティバルでは、午前中に体験活動として地域内の指導者等により、しめ縄づくりやクラフト作り、もちつき等が行われ子ども達は日頃なかなか経験できない活動とあって子供と育成者も一緒になつて挑戦しました。

午後からは、舞台で子ども会による集団演技の発表や意見発表も行われ、舞台発表の開会式で村子連の金城盛建会長は、「子ども達の元気な姿を見ることができて嬉しいです。」とあいさつがあり、舞台での発表を会場に訪れた家族や子ども会の関係者と共に楽しんで。

また、フェスティバルでは中高生で組織するジュニアリーダークラブが運営にあたり、後輩達の発表を支えていました。



歳末助け合いに役立ててと 安富祖校から寄附

安富祖小学校児童会では、歳末助け合いに協力しようと児童らに呼び掛けて集めた歳末助け合いの募金を12月24日、大城村長を訪問し児童会の代表によって村長に手渡されました。

村では、受け取った募金は村社会福祉協議会を通じて村内に配布されました。

安富祖校の皆さんにありがとうございました。



▲ありがとうございますと募金を受け取る村長



▲空手演舞（山田子ども会）



▲フェスティバルではしめ縄作りも行われました



▲子どもの学びに深さを感動したと藤岡氏の講演

これからの教育の在り方を考える
平成十一年度教育講演会

村学力向上対策委員会と村教育委員会の主催する平成十一年度教育講演会が十一月三十日、村コミュニティセンターで開催されました。教育講演会には、横浜国立大学の藤岡完治教授を迎えて「これからの教育の在り方」と題して総合学習と特色ある学校づくりについて講演が行なわれました。会場には村内各学校の先生方を中心に地域の教育関係者百名余りが参加し藤岡教授の講演に耳を傾けていました。藤岡教授は国内でも総合学習の權威で、講演のなかで藤岡氏は戦後の

日本人の高度経済成長を支えたのは学校教育であり、これからの不透明な時代ではこれまでの「知」ではついていけない。子ども達が本物の経験をし、現実の壁に直面し「人との関わりによる学びの深さ」に感動した。と学校での実例を交えて講演していました。

会場に訪れた学校関係者は、これまでの学校教育の現場と藤岡氏の講演を聞いて総合学習の重要性を新たに再認識する講演会となりました。



▲学校関係者も多く会場に訪れました



▲運用開始を記念してのテープカット

高規格救急自動車運用がはじまりました
金武地区消防恩納分遣所運用式

金武地区消防衛生組合に二台目となる高規格救急自動車の運用が十二月から恩納分遣所でスタートしました。十二月七日に村コミュニティセンターで行われた運用式では、高規格救急自動車の運用開始により一層の救命率の向上を図ろうと多数の消防関係者が出席し、式典や展示訓練、器材等の展示が行われました。

高規格救急自動車は、十二月一日現在で十台が県内で運用されており、その内の二台は金武地区で運用され、傷病者の救命率を向上するため活躍しております。また運用に当たり金武地区消防では救急救命士の養成も行っており、現在は五名の有資格者で運用されており、展示訓練終了後の祝賀会で大城村長は、「高規格救急自動車の恩納分遣所の導入を村民と共に喜んでいきます。隊員の皆様の適切な運用を期待します。」と激励のあいさつがありました。

恩納分遣所での運用開始で、村を訪れる観光客や七月に控えたサミットでも安全を確保する上でも大いに期待がもてます。

▼恩納分遣所で活躍の救急救命士



新里隊員 島袋隊員 宜野座隊員

第四十七回恩納村戦没者慰霊祭開く
戦没者追加刻銘芳名板も除幕

戦争で亡くなられた戦没者を追討し恒久平和を願う、村戦没者慰霊祭が十二月十三日村慰霊塔で遺族並びに関係者が多く参加のしめやかに執り行われました。

慰霊祭では、まずはじめに平成九年度の慰霊祭で遺族から要請のあった村慰霊塔への追加刻銘芳名板の除幕が大城村長や遺族会の代表らで行われ、五百二十三名の氏名が追加されました。

除幕式の後、参列者全員で戦没者の冥福を願う黙祷と各団体の代表による献花が行われました。

大城村長は式辞の中で遺族に対し「時代は変わっても皆様の悲しみは変わることはないでしょう。平和の心を伝えることが私達の責務です。」と述べました。また、遺族会の仲本克一会長は、「今回の慰霊祭で追加刻銘芳名板が無事除幕され、関係者の皆様に感謝致します。平和を守ることが遺族会の責務です。」と追悼の言葉を述べました。

その後、一般焼香も行われ焼香を終えた遺族らが除幕された刻銘板に家族や親戚らの名前を確認する姿も見られました。



▲追加核銘された芳名板を確認する遺族ら



▲暗記したストーリーを英語でスピーチ

各中学生の代表が英語でスピーチ
村英語ストーリーコンテスト

中学生に英語の会話力と表現力として発表力の向上を図ることを趣旨に、村学力向上対策委員会と村PTA連合会が主催する英語ストーリーコンテストが十二月十三日、恩納校体育館で各校選抜された代表十名が流暢な英語で物語を発表してくれました。

ストーリーコンテストでは、開会式で主催者を代表して伊波肇村教育委員長は、国際社会で生き活躍する人材を育成するためには外国語の一つである英語力を上げることは大切なことだと発表者と

聴衆の生徒を激励しました。発表者は、暗記した日本や外国の物語や会話等をこれまでの練習成果を壇上で堂々と発表していました。審査員には各学校の英語教師の他、米人教師も審査員として発表者の発音や表現力等を審査しました。

なお、結果は次のとおり。
最優秀賞
全体の部 大城やよい (仲泊中)
男子の部 東恩納 大 (仲泊中)
女子の部 大城 裕香 (恩納中)



▲会場には多くの生徒も応援で参加

放送大学をご存じですか？

放送大学（教養学部）平成12年度第1学期学生募集

放送大学とは？

放送大学はテレビ・ラジオを利用して授業を行う正規の通信制四年制大学です。四年以上在学し所定の単位を修得すれば、「学士（教養）」の学位が取得できます。

幅広い分野の約300科目をそろえて、1科目からでも学ぶことができます。入学試験はありません。

18歳以上であれば誰でも全科履修生として入学できます。

15歳以上であれば誰でも選科・科目修生として入学できます。

短期大学・専門学校からも3年次編入ができます。

- 募集学生** 全科履修生（卒業を目指す学生）
選科履修生（1年間在学する学生）
科目履修生（1学期間「6カ月」在学する学生）

出願受付 平成11年12月15日（火）～平成12年2月15日（火）

「教育訓練給付制度労働大臣指定講座」が利用できます。

当該講座の修了要件を満たした場合、ハローワークから教育訓練給付金として講座受講に係わる一部経費が支給されます。

※入学資格等、詳しいことは募集要項をご参照下さい。

【資料請求・お問い合わせ】

放送大学沖縄学習センター
〒903-0129
西原町字千原1番地 TEL098-895-5952
資料請求フリーダイヤル

0120-864-600

危険物取扱者試験

試験日時：平成12年3月12日（日）午前10時開始
試験種類：甲種・乙種第1～第6種・丙種
試験会場：南部農林高等学校・沖縄国際大学・北部農林高等学校
宮古工業高等学校・八重山農林高等学校
受験願書受付期間：平成12年1月31日（月）～2月4日（金）
受験案内書配布先：各消防本部・宮古・八重山支庁振興総務課・消防試験研究センター
受験受付方法：受験願書を試験センターへ郵送又は直接窓口へ持参（土・日休み）
受験受付場所及びお問い合わせ先：
（財）消防試験研究センター沖縄県支部
那覇市旭町14番地 自治会館5階

☎098-867-5332

沖縄県立教育センター 障害児教育相談



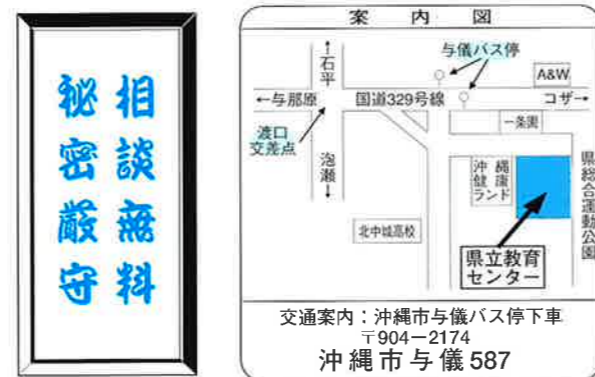
こんなときに…

- ①ものを見るときに近づきすぎる
- ②うしろから呼びかけてもふりむかない
- ③指示や話の内容が理解できない
- ④手足や体の動かし方がぎこちない
- ⑤体が弱く戸外で遊べない
- ⑥発音が不明瞭で話がぎこちない
- ⑦落ち着きがなく、集中しない

…ご相談下さい

相談内容

- ①家庭における養育や躾に関する事
- ②各種検査（心理・機能）に関する事
- ③障害に応じた早期教育や訓練に関する事
- ④障害に応じた就学や進路に関する事
- ⑤専門医による診断や検査に関する事



相談対象 乳児から高校生の保護者及び関係者
相談日時 月～金（9時～17時）
来所相談・医療相談・地域相談は電話予約が必要です。
予約・問い合わせ 098（933）7555（内線505）



自動車税の
滞納整理強化月間

まだの方は、お早めに最寄りの銀行、農協等で納めてください。
…………… お問い合わせ ……………
自動車税事務所・各県税務事務所

沖縄県

国民年金係からのお知らせ！！

国民年金事業等、沖縄県知事表彰実施要項に基づき、長年に渡り指導員として国民年金事業の充実、発展に尽力があったと認められ、11月25日に開催された平成11年度沖縄県社会保険大会において恩納村から金城好江さんが表彰されました。



▲12月6日大城村長に受賞を報告

国民年金制度へのご協力いただきありがとうございます。皆様のしあわせの為、老後だけの年金でなく、もしもの時の病気やケガの障害、一家の働き手をなくしたら遺族年金、又どんなに長生きしても国民年金なら安心をキャッチフレーズに年金を末長くよろしくお祈りします。

うっかり納め忘れの解消の為………口座振替を!!

★★★★まとめて前納★★★★

1年分などの保険料をまとめて前払いする方法です。年5.5%の割合で割引にもなります。

福祉の職場説明会2000開催について

社会福祉関係の職場へ就労を希望する人（学生を含む）や関心のある人を対象に、求人施設の面接担当員と直接面談する機会や、福祉の職場や各資格の取得方法、内容等について情報提供することで、就職活動を支援し、各種福祉サービスの拡充とそれらを担う質の高い人材を確保する。

- ◆日時/平成12年1月29日（土） 13：30～16：30
- ◆場所/沖縄市民会館：中ホール
- ◆対象/①大学・短大・福祉関係専門学校・高等学校の学生や進路担当者
②福祉人材無料職業紹介所・福祉人材バンク登録者
③その他の社会福祉の職場へ就職を希望される方
- ◆内容/○求人面談コーナー
○インターネット実演コーナー
○総合コーナー ○図書販売コーナー
- ◆参加費/無料（参加申し込みの必要はありません。）
- ◆問い合わせ先 〒900-8558
那覇市旭町35番地 沖縄福祉人材センター
TEL：098-867-1547 TEL：098-860-1685
- 主催 沖縄県、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県福祉人材センター、名護市福祉人材バンク

1月10日は110番の日

事件事故 みんなを守る 110番

応えます あなたの相談

#9110

110番をかけるときは
あわてず、落ち着いて!

《110番のための6つのポイント》

1. 何があったのか
2. どこで
3. いつ
4. 犯人は
5. 今どうなっている
6. あなたの住所、氏名、電話番号

恩納村企画課
統計係より

●●今年2000年、国勢調査の年です

今年2000年は、5年に1度の国勢調査が実施される年。10月1日の午前0時現在で、全国一斉に調査が行われます。

対象は日本に住むすべての人で、赤ちゃんも外国人も含まれます。調査結果は地域や国をより良くする重要な基礎データとなります。

調査票が配布されるのは9月下旬、提出期限は10月9日です。10月1日現在のあなたの状況をお知らせ下さい。

ボリビア在住の真栄城氏から寄付金がありました。

南恩納出身でボリビア在住で、大規模な農業を営んでいる真栄城徳治氏夫妻が11月24日大城村長を訪問し、新庁舎建設にお役立て下さいと金一封が寄付されました。

真栄城氏は、11月に故郷の恩納村を訪れ、訪問中に開催された文化協会の主催する村文化祭も見学し村民の演じる芸能も楽しみました。

